

# 沖縄県で豚流行性下痢が発生!

## 【概要】

場 所 沖縄県本島中部地域

飼養頭数 491頭(種豚6頭、母豚80頭、  
哺乳豚155頭、子豚250頭)

状 況 哺乳豚155頭で発生し、うち75頭が死亡。  
分離されたウイルスは近年米国および  
アジア諸国で流行している株に近縁

(本病の詳細については裏面も参照ください)

生産者の皆さまには今回の事例を踏まえ改めて  
以下の防疫対策の徹底をお願いします!!

## 「飼養衛生管理基準」の遵守徹底

### ○飼養豚の健康観察

異常豚の早期発見・早期通報

### ○野生動物の侵入防止

### ○消毒の徹底

消毒槽、農場専用の衣服・長靴の使用

### ○部外者の出入り制限

### ○入退場する人や車両についての記録

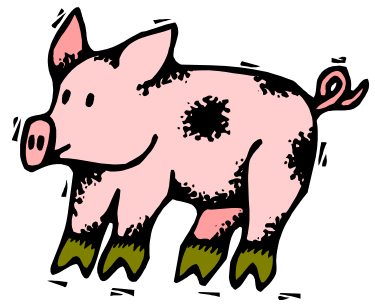
異常豚を見つけた時は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください。



# 豚流行性下痢 (PED) とは

## 原因

豚流行性下痢ウイルス



## 疫学

日齢や季節を問わず感染。  
若齢豚で症状が重く死亡率も高い。  
ウイルスは糞便中に排泄され、口または鼻を介して感染する。

## 症状

食欲不振、元気消失に続く水様性下痢。  
10日齢以下の哺乳豚ではほぼ100%死亡。  
日齢が進んだ豚では致死率は低下する。  
母豚では泌乳量の減少や停止(哺乳豚の死亡要因)。

## 予防

衛生管理によるウイルスの侵入防止。  
生ワクチンの利用。

## 日本における発生

本病の発生については、1980年代および1990年代に流行し、平成18年に1県で確認されたのが前回最後の発生だった。